

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	海川敏 雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 232
分水嶺区分:	P422～H222梯子岳～H221 540.4	(3)山行日:	2006年 3月 18日	(4)天候:	曇り時々晴:積雪2m		

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981						
片岡次雄	12093						
計		2名		計			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	泉沢川林道 分岐・右股 P422 P446 P363 P457 梯子岳 P457 P422 540.4 分岐 駐車地点												
アプローチ:	函館 R227 厚沢部町富里 泉沢川林道												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	林道駐車地点	富里	140	23	57.9	41	50	27.9	119	6:35			
分水嶺到達点	P422	富里	140	24	36.9	41	48	49.9	423	8:25	8:30	B-4	(9)-1
	P460m地点	富里	140	24	25.5	41	48	35.6	468	8:50	8:55	B-4	(9)-1
	P446	富里	140	23	54.6	41	48	20.0	449	9:50	9:55	B-4	(9)-1
	P363	富里	140	23	17.5	41	48	31.8	363	10:15	10:20	B-4	(9)-1・2
	P457	富里	140	22	42.2	41	48	20.0	467	11:20	11:40	B-4	(9)-2
H222	梯子岳 562.7	富里	140	22	43.7	41	47	56.9	567	12:35	12:45	B-4	(8)
分水嶺離別点H221	540.4	富里	140	25	49.9	41	48	29.5	541	16:40	16:45	B-4	(9)-1
歩行終了点		富里	140	23	57.9	41	50	27.9	119	18:30			
総歩行時間(休憩時間を除く)												11時間20分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H222	梯子岳 562.7				積雪のため三角点は発見できなかった。
H221	540.4				同上

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

梯子岳頂上に反射板が2基建てられていて、それぞれが南北に向かって立っている。「北海道電力株式会社梯子岳反射板制作昭和57年6月」と記されている。

(9)水および植生に関連した特記事項

1. 樹木は殆どがブナで、中にイタヤカエデやダケカンバも見られる。
2. やせ尾根上にヒバの自然林が見られる。

(10)その他の特記事項

泉沢川林道の除雪最終地点(道道R29から4km入った地点)に駐車し、林道を進み、分岐(212m地点)から右の沢を詰めて分水嶺へ。その後「P422～梯子岳」間を往復し、540.4から泉沢川左股上流に下降、分岐を経て駐車地点へ。P422から梯子岳にかけては激しいアップダウンや、P457の前には気の抜けないやせ尾根が続き、肉体的にも精神的にもタフネスを要求されるコースだった。全歩行距離約18.1km、積雪約1.5～2m、ワカン使用。

(11)写真の添付:( 有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: